



菊川市・御前崎市 共同イクボス宣言

私たちは、職場で共に働く職員のキャリアと人生を応援しながら、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる「イクボス」となることに努めます。

この取り組みにより職員自らが活力を高め、市民サービスの向上に繋げていくことを意識するとともに、イクボスの精神と充実した生活を送るための働き方改革を、地域社会全体に広げていけるよう、イクボス10ヶ条に真剣に取り組むことをここに宣言します。

平成31年1月9日

宣言者 菊川市長

太田 順一

宣言者 御前崎市長

柳澤 重夫

立会人 NPO法人ファザーリング・ジャパン
代表理事

安藤 聖也



イクボス宣言10ヶ条



1. 理解

職員が子育て・介護等に時間を割くことに理解を示していること

2. ダイバーシティ

私生活に子育てや介護などに時間を割いている職員を差別（冷遇）せず、
正当に評価すること

3. 知識

子育てや介護の支援制度などを知っており、自ら部下に取得を促すこと

4. 組織浸透

組織全体に私生活を軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めること

5. 配慮

派遣など職員のライフに大きく影響を及ぼす人事については最大限の配慮
をしていること

6. 情報共有

育休取得者などが出ても、業務が滞らないよう情報共有やチームワークの
醸成など可能な手段を講じていること

7. 時間捻出

職員が私生活の時間を取りやすいように会議時間の短縮や書類の削減、意
思決定の迅速化などを進めていること

8. 提言

上司に対し部下の私生活に配慮したマネジメントをするよう提言している
こと

9. 有限実行

イクボスのいる組織は、成果もあげていることを実証していること

10. 隗より始めよ

ボス自ら、ワーク・ライフ・バランスを重視し、人生を楽しんでいること